



桜の開花予想 400度の原理とは?

■桜の開花予想の原理

東京の桜の開花予想は3月14日。さて、桜の開花予想は誰にでもできるそうです。その方法は「400°Cの法則」といわれています。桜の花の芽は夏にできます。その芽が秋から冬にかけて、生長しないように休眠に入り年を越します。そして十分に低温刺激を受けることで休眠から目覚めます。これを「休眠打破」というそうです。開花予想はこの休眠打破の日(2月1日)を起算日として、平均気温を累計して、400度に到達した日を開花日と予想します。今年の東京開花予想日は3月14日で2月1日から平均気温の累計が右の表です。15日に399度になっています。たった1日の違いですね。自然は不思議ですね。

2月		
日付	平均気温	累計気温
1	7.2	
2	8.8	16.0
3	6.2	22.2
4	7.0	29.2
5	7.1	36.3
6	8.9	45.2
7	9.9	55.1
8	6.1	61.2
9	4.7	65.9
10	6.7	72.6
11	8.7	81.3
12	7.8	89.1
13	10.4	99.5
14	12.3	111.8
15	11.4	123.2
16	10.6	133.8
17	7.6	141.4
18	4.3	145.7
19	6.9	152.6
20	10.2	162.8
21	13.9	176.7
22	14.9	191.6
23	11.0	202.6
24	6.4	209.0
25	6.6	215.6
26	8.7	224.3
27	5.7	230.0
28	6.6	236.6

3月		
日付	平均気温	累計気温
2月累計気温⇒		236.6
1	11.8	248.4
2	13.5	261.9
3	7.4	269.3
4	9.0	278.3
5	11.8	290.1
6	13.8	303.9
7	7.8	311.7
8	6.6	318.3
9	9.6	327.9
10	12.0	339.9
11	9.9	349.8
12	12.7	362.5
13	11.1	373.6
14	12.5	386.1
15	12.9	399.0
16	14.5	413.5
17	13.7	427.2

気象庁ホームページより
毎日の平均気温を累計しました

あなたもが30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



「汚物掃除法」から 「清掃法」へ

■4月22日の「清掃デー」

1954年に従来の「汚物掃除法」改正した「清掃法」が制定されたことを記念して制定されました。

ゴミ処理に関する「清掃法」の前の「汚物掃除法」の成立した要因は明治10年、明治12年にコレラが大流行し10万人以上が死亡しました。その後、明治32年に神戸にペストが上陸して大流行しました。

コレラの流行の原因は生ごみを焼却していなかったためごみ置き場や埋立地でゴミの腐敗が進み、ばい菌や害虫が発生し流行につながるようになりました。

●「汚物掃除法」が制定

そこで、明治33年に伝染病予防のために公衆衛生の向上を図るために「汚物掃除法」が制定されました。

この法律制定以前は、ゴミは野焼きの状態でした。これ以後、汚物掃除は市町村の責任となりゴミは焼却場で焼却することになりました。

大正13年には初めての屋内焼却場(大崎塵芥焼却場)が建設されました。そして、現在は、生ごみは可燃ごみとして各家庭で分別された後、その日のうちに清掃工場に運ばれ焼却されています。

人々の衛生的で健康的な生活には、都市のごみ処理を支える清掃工場が欠かせない役割を果たしていますね。



大八車でゴミを運ぶ時代から塵芥収集車でゴミを収集し運搬する時代へ。

注意喚起：コロナ禍のゴミ処理の仕方(環境省)

新しいコロナウイルスの病気を広げないための 家のごみの捨て方

— 家のごみを出すときに気をつける5つのこと —

その1 ごみ袋は
しっかり
しばりましょう!



その2 ごみ袋の
空気を抜き
ましょう!

ごみを集める車の中で
袋がやぶれることが
あります。



その3 生ごみは
水を抜き
ましょう!



その4 家のごみを
減らし
ましょう!

たとえば、食べ物のごみ(ロス)を
少なくしましょう。

「食ロスポータルサイト」
(日本語) ▶▶▶



その5 住んでいる町の
ルールのとおり
ごみを分けて捨てましょう!

いつもと違うルールに
なっていることがあります。
また、ごみを道などに
捨ててはいけません。



キャップと
ラベルは
とりまじけり!

新しいコロナウイルスの病気の人や病気かもしれない人のマスクやティッシュの捨て方

① ごみ箱にごみ袋を
かぶせて、いっぱい
にならないように
しましょう!



② ごみ袋の空気を抜いて、
しっかりしばって
捨てましょう!

ごみが袋の外側に
ついたときや、
袋がやぶれたときは、
ごみ袋を二重にしましょう。



③ ごみを捨てたあとは、
せっけんで
手を洗きましょう!



注意喚起：コロナ禍のマスクの捨て方(環境省)

新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『ごみの捨て方』に沿って、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

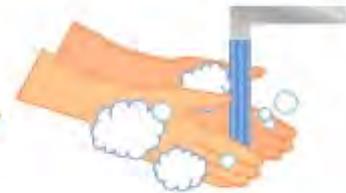
①ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりとしばります。



③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

- 『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。
- ごみを捨てる際は自治体のルールに従うとともに、ポイ捨ては絶対にやめましょう。使用済みのマスク等のごみを捨てる際にも、『ごみの捨て方』を参考に、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことに注意しましょう。